



## 猛暑乗り越え

### 後半も元気に受講しましょう!

まだまだ暑い日が続きます。コロナも感染が増えているらしい…です。油断せず体調管理に気を配りましょう。今年度後半の講座も、みなさんが十分に学び交流も深めていただけるよう、運営委員会も努力します。

## 次年度講座の検討を始めています。

「こんな講座があればいいなあ」「こんな勉強をしてみたいなあ」などのみなさんの思いを、運営委員にお届けください。

講座ごとに書いていただいているひとこと感想用紙に書いていただいても結構です。

## 引き続き、運営委員募集中!

新しい運営委員が増えることで、知恵も人脈も広がり、魅力ある社会人大学校の運営につながります!

◆9月から傷害保険による補償が始まっています。

講座に参加するために自宅を出てから、受講中、受講後帰宅する(寄り道しないでまっすぐ帰る)までの間に生じた事故について、補償します。万一事故にあれば、速やかに事務局(080-2511-1751)にご連絡ください。

7月予定していたすご技講座「日東精工(株)を訪ねる」は、来年3月6日(水)に延期して実施します。

## 7月の各講座の概要と、ひとこと感想から

(感想は一部を抜粋したのものです。ご了承ください)

憲法問題—いつも解ったような解らないような気持ちでしたがだいぶ理解できたように思います。

世の中の変化にいつもアンテナを張っていなければならない。今回の話は特に自覚しました。特にハラスメントの話。

まず資料が整理されていることに感謝します、しかしながら「スタンドオフミサイル」の整備など肝心な数値のことは資料がなく筆記できない。スライドの映りが悪くて見えない。

年齢の若い講師の方、今までの講義とは一風違う内容の特色ある、ほう、なるほどなあ—と思う講義でした。

### ◆時事問題講座 7月4日

#### 「浮上してきた憲法改定問題」 講師:尾崎彰俊氏

憲法は自由獲得の努力の成果だ。王様が自分勝手にしないで従わねばならないルールが憲法である。日本では、帝国憲法では言えなかったことが言えるようになったのが、日本国憲法である。その改定については、国会の3分の2以上、国民の過半数(通常選挙)の賛成票を必要とする。

そして、実質改憲は行われている、憲法9条、25条等については破壊されてきている。2022年12月、三文書(国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力設備計画)の改訂がされた。これは、敵基地攻撃能力も含め、あらゆる選択肢を排除せず、防衛力を抜本的に強化するというもの、憲法9条で禁じた武力行使は、論議せず改悪されている。

また、社会保障についても、医療費制度改悪、公的年金制度改悪の流れがある。

そして、ハラスメント、マイナンバーカード問題は、人権上、大変危険な問題をはらんでいる。

◆寄席芸鑑賞講座 7月6日  
「大道芸を学び楽しむ」講師:TASKU 氏

京都出身、桂在住のマルチコメディパフォーマーの TASKU 氏。「多くの笑顔を、求めて」パフォーマーの道に。もともとは、漫才師。6年間コンビを組んでいたが、お互いの方向性の違いから解散。当時の年収は58000円でした。と、仰っていました。(厳しい…)

大道芸の歴史は、室町時代からで、普及していったのは江戸時代。そもそも大道芸とは、お客さんの目線とパフォーマーが同じ位置の道端芸。それに対してステージショーは、舞台の上で、客席のお客さんに見せる芸の事。種類は、ジャグリング(ボール、クラブ、ナイフ、火、シガーボックス等)、スティルト(2mくらいの背丈になる竹馬の芸)、ワンマンバンド(一人楽器演奏)、スタッチュ(銅像芸)、パントマイム、アクロバット、ちんどん屋、獅子舞、猿回し、紙芝居、玉すだれ、太神楽、等々。休憩時には、ジャグリングの道具を体験させて頂いたり、ティッシュの玉でジャグリングの練習をしたり、最後はハラハラドキドキの、バランス芸を見せて頂きました。見ているだけで、力が入って筋肉痛になりそうでした。汗だくの熱演有り難うございました。



とても面白かったです。最後は手に汗を握る感じでした。田舎なのでなかなか機会がないですが大道芸をぜひ見たいと思いました。

「大道芸あるある」等楽しく聴かせていただきました、ひきつける話芸あってこそその大道芸の面白さを初めて体験させてもらいました。

多くの苦労もあり、これからは見かけたらしっかり足を止めたいと思います。

いろいろ手に取って道具を触らせていただいて、重さもこんなにあるのかと…



◆写真講座 7月18日  
「子どもの笑顔」 講師：四方智基氏

そもそも写真講座を初めて開講した時、多くの受講生が受講の動機に挙げたのが「孫の写真を上手に撮りたい」でした。しかし、このテーマはなかなか実現せず2年…3年…、多くの時間がかかりました。

武道館のひろーい道場を借りて、子どもたちが思いっきり自由に走り回る姿を追いかけます。お父さんに「高い！高い！」してもらおう時、お母さんに絵本を読んでもらう時の、楽しそうな幸せそうな顔！ さすが、事前にモデルの練習をした3人の女の子、あちこちからパシャパシャ撮られても固まることなく、全く自然の笑顔を見せてくれました。あとは受講生のウデ次第。

子どもたちを撮るのは難しいことがわかりました…夏休みに勉強します。

涼しいところでありがとうございました。

無邪気に走り回る子どもさんを追いかけてたり姿勢を低くしてカメラを構えたり、連写も初めてでした。いろんなシーンで活用したい。

予測しない動きをとる子どもたち。むずかしいです。



## ◆歴史講座 7月19日

「明治：阪鶴鉄道と京都鉄道」 講師：井口和起氏

私も含めて、受講生のみなさんにとって若かりし頃の移動手段で最大のものは鉄道だったと思います。当日はこの鉄道の発展の過程を、特に明治時代を中心に講義を受けました。鉄道は当時では、速くて大量に人・モノが運べる画期的な移動手段でした。各地で産業振興が高まるにつれて鉄道も伸びていきました。現在、新幹線を除いた新線が建設される時は、ほぼ3大都市圏での人口増加地が主な理由で、産業面ではトラック輸送の道路に取って代わられています。明治期（戦前と言っていいかも）は民間の需要に加えて軍事面の理由も大きなものがあつたということです。阪鶴鉄道は、舞鶴に海軍鎮守府が設置され、軍事面からの要請もあり、丹波地方では阪神間と舞鶴を結ぶ路線（阪鶴鉄道）が開通されました。京都鉄道は民間資本から建設が始まったため、資金難や難工事でかなりの困難を伴い、阪鶴鉄道と綾部で結ばれるには、官設への転換を通じてかなりの時間を要しました。

街と暮らしの変貌について、旧丹波町は鉄道の敷設に反対した町となっていますが、鉄道が衰退し車の時代になると、観音峠より北部において人口増加をしたのが当町と福知山市の2つの自治体だけという時期もありましたが、縦貫道が開通すると通過地域となり、再び人口減少地域になっていきました。（原因はこれだけではありません。）地方の衰退は移動手段の変貌を含めて考えさせられます。

とても興味深くありがとうございました。関連して、満州、朝鮮半島、台湾等統治時代の日本による鉄道についてもお話ししていただければと思います。



鉄道建設は計画的に国がすすめたものと思い込んでいたので、民間資本を利用してすすめていたと知って驚いた。と同時に資本不足の明治政府にとっては当然だと合点した。明治時代における近代資本主義の発展過程がよく見えてきた。

「河守鉄道」「加悦鉄道」を是非お願いしたい。

## ◆自然科学講座 7月20日

「コンピュータが音声を分析し再生する」

講師：橋田光代氏

前半の講義は現役の学生用の内容ではなかったかなと思うほど、高齢者が理解するには、その知識が不足している分、少しきつかったです。自動伴奏システムについて、コンピュータが音楽あるいは音声をつくるということですが、今度は AI かと思うところまで来ているようです。

後半は音声の高低をスクリーンに図示し、説明を受けました。長い音声やア・イ・ウ・エ・オの発声を、マイク・パソコンを通して周波数成分がリアルタイムで分解されながら映し出されました。この表示で、母音を出さなければ高く映し出されるなど声の出し方によって表示が違ってくることがわかりました。これには、受講生もマイクに向かって発声し、スクリーンの表示を見ながら理解を深めることができました。また本講義では、橋田先生がギター、バイオリン、おもちゃ楽器、笛を持参、各楽器を演奏され、それぞれの音の違いがスクリーンに表示され、違いが解るように説明をされました。

楽しかった。けど難しかった。音を分解したら…？

テクノサウンド、音と技術の発展など、結びつきが少し分かり楽しく講義を受けました。

「自然科学」とはちょっと違うような気がしましたが、たまには「普段使っていない脳」が活性化されて良かったです。ほんとの大学生の頃ならもっと理解できたと思いますが…。むずかしかった…。



## ◆漢字学講座 7月27日

漢字の謎③「つらい」と「しあわせ」の差は線一本？

講師：久保裕之氏

まず、「辛」の文字は、入れ墨を入れる針の象形文字。

「辞」は、辞書、辞表の様に「言葉」だとか「やめる」の意味を持っている。「舌」は、糸巻き象の象形文字。こんがらがった糸を二つの手で解きほぐしている様。なるほど「辞書」も、言葉を解きほぐしているし、「辞表」も、相手を解きほぐす物。

「完璧」の「璧」の玉の部分は、ギョクと呼ばれる円盤状の玉の宝石。傷一つ付いていない宝石の事で、「完璧」。

「幸」の文字は、手かせの、象形文字。すなわち、どちらも刑罰から来た文字。では何故、手かせの文字が「幸せ」「幸い」になったのか？当時、肉削ぎの刑、入れ墨の刑など、残酷な刑罰がたくさん有った中で、手かせの刑くらいで済んで「幸い」から来ているとの事。(え？それが幸せなのか？！)

又、日本独自で作られた和製漢字も、紹介頂きました。「畑」「峠」「袷」「籽」などなど…

そこで皆さんも創作漢字にチャレンジしてみませんか？と言う事で、第14回創作漢字コンテスト募集のお知らせも。なるほど…と思える様な面白い漢字を作って応募しましょう！(9月8日締め切りですけど)



今日は、針や手かせを、もとした漢字を学んだ。私は鍼灸師なので、興味はあったが、刑罰にもとづいて、発想は難しかった。

開講日にあった古代文字(亀甲文字)を考えるクイズを、早速地元の老人会で紹介したら好評でした。これからも、楽しみです。

「辛」「幸」意外な漢字の成り立ちにびっくりでした。日本で、作られた漢字の話も面白かったです。

死にそうな、暑い日が続きます。参加者は外の暑さは何のその、楽しい時間が、あっという間に終わりました。

## 寄席芸鑑賞講座「繫昌亭ツアー」のお知らせ

12月14日 に実施します。

参加募集は10月から

- ◆詳細は、10月からの募集の際にお知らせします。
- ◆まず、寄席芸鑑賞講座の受講生本人の申し込みを優先し募集します。バス座席に余裕のある場合、他の講座受講生の参加を募ります。

